

仏事コーディネーター 資格取得者を訪ねて

BUTSUJI-COORDINATOR

若林佛具製作所（京都）

「スキルアップやビジネスサポートに
役立てたい」

伊藤 結氏

若林佛具製作所は全国六ヶ所（京都本店・東京支社・築地店・札幌店・仙台店・福岡営業所）を拠点に展開。創業は天保元年（一八三〇）、長い歴史に培われた同社の心温まるサービスはこれまで多くの顧客、御寺院に親しまれてきた。

伊藤結氏は京都府出身、京都産業大学卒業後、同社に入社。大学では経営を学んだ。子供の頃から京都に住んでおり、就職も京都の会社を希望していた。京都は神社仏閣、

伝統工芸も多く、伝統的なことに関係する仕事に就きたいという気持ちがあった。また、中学、高校は仏教系だったので、仏教は身近な存在であったと過去を振り返る。自宅にも小さな仏壇があり、両親が熱心に手を合わせるのを見ており、仏壇の仕事を学んだ。京都は神社仏閣、



伊藤 結氏（若林佛具製作所）



店舗外観（若林佛具製作所・京都本店）

同社を選んだ理由は、女性が働きやすい環境が整っており、若い女性スタッフも多く、自宅から近いなど、様々な利点があった。また、以前に伊藤氏の親戚にあたる人が若林佛具製作所のテレビCMに出演したことがあり、同社のことはそのときから知っていた。しかし、何かの縁があったのかもしれないと話す。また、就活の際に同社を見学した時に案内して頂いた同社のスタッフの方がとても親切だったことも入社理由にあげる。

現在、同社の仏事コーディネーター資格取得者は多数在籍、女性の資格取得者も多い。伊藤氏は昨年、仏事コーディネーター資格を取得、すでに多くのスタッフが資格を取得しており、資格はひとつのハードルであった。社内のバックアップ、周囲の協力、自らの努力も重なり、合格の栄冠をつかんだ。先輩スタッフに一步でも近づけたかなと感じたという。

資格の活用については、まだ取得したばかりなので、これからも研鑽を重ねたいと日々勉強の毎日。ガイダンスで学んだことも役立つが、お客様の中にはマニュアル以外の問い合わせもあり、お客様から教わることも少なくない。

そのほか、同社の店内、京仏壇ミュージアム、卯兵衛館を見学される団体のお客様が訪れたときにID証を付け、ガイドを務める時もある。資格の積極的な活用を心がけ、スキルアップやビジネスのサポートにつながりますと伊藤氏の言葉は弾む。お客様から感謝の言葉を言われたとき、もっと頑張らなければと常に緊張感を持って臨んでいる。今年、受験される方や受けようと思っている方に励ましの言葉をお願いした。「自分の自信になりますのでぜひチャレンジしてください」と伊藤氏は多くの受験者にエールを送る。